

寒川町長 木村俊雄様

令和3年11月26日
第260号

学校給食に関する質問書(町長への手紙)

2021年 11月26日

11月12日、「寒川町・農業生産者・さがみ農業協同組合『黄金の三角形』で食育を後押し! ~ 学校給食に『寒川産』の新鮮でおいしい野菜を!」というタイトルで「寒川学校給食説明会」が開催されました。

地産地消を推進するために、三者の話し合いがもたれたことは、意味のあることであり、おおいに評価するものです。

いくつかの点について、以下質問します。12月20日までに文書にてご回答いただきたく、お願い申し上げます。

1. 学校給食は町が担っていることであり、現に町が、学校給食センターの整備を進めています。ところが、「寒川学校給食説明会」をさがみ農業協同組合寒川地区運営委員会が主催するということは、どういうことなのか。
2. さがみ農業協同組合寒川地区運営委員会が主催して、何を説明したのですか。
3. 農協や農業生産者が、地産地消と食育の推進にきわめて重要な役割を担っていることは自明のことですが、栄養職員をはじめとする学校給食担当者、保護者、子どもたちの声を聴くことも不可欠ではないでしょうか。
今後、このような機会を設ける予定はないのでしょうか。
4. 町は、学校給食に使用する野菜などのうち、どのくらいを寒川産でまかなうことを目標にしているのですか。数値目標はあるのですか。

【ここに入力】

回答

<学校給食に関する質問書> 【所管：教育施設給食課】

1. 町のプレスリリースにもありますように、さがみ農業協同組合寒川地区運営委員会(以下「さがみ農協」)があくまでも当該組合の事業活動として、地区内の農業生産者向けに行った説明会であるため、主催はさがみ農協となっております。
2. こちらもプレスリリースのとおり、寒川産野菜を学校給食向けに提供していく取り組みを町と共に進めるため、生産者へ協力をあおぐとともに取り組みの説明を行いました。
3. 学校給食担当者等については、町、学校、委員会の各関係者を会員とした検討部会を設置しており、継続して各種課題等を共有、意見交換を行っております。
また、保護者含め、その他の方からも広くご意見をいただく点については、今回いただいた質問書に対してもそうであるように、委員会として常にご意見をいただき回答させていただいており、説明会を開催する予定はございません。
4. まだ、手法等を含め取り組みを始めた段階であるため、数値目標は今後検討してまいります。